

第1回 THE シガパークビジョン検討委員会 議事要旨

開催日時：令和7年11月5日（水） 9：30～11：30

開催場所：滋賀県庁東館7階大会議室（Web会議併用）

出席者：上田 洋平（滋賀県立大学地域共生センター）委員

　　福井 亘（京都府立大学 生命環境科学研究科）委員

　　高木 浩文（公益財団法人 淡海環境保全財団）委員

　　辻 祥子（滋賀県シェアリングネイチャー協会）委員

　　岩崎 博論（武蔵野美術大学 造形構想学部）委員（Web）

　　廣瀬 香織（一般社団法人ママパスポートコミュニティ）委員（Web）

　　※欠席 宮本 麻里（合同会社LOCO）委員

（敬称略）

議事：1 開会

2 THE シガパークビジョン検討委員会について 資料-1

3 議題

　　THE シガパークおよびこれまでの取組について 資料-2

　　THE シガパークビジョンについて 資料-3

　　利用者等への公園に関する意見聴取の方法について 資料-4

4 閉会

議事要旨：

①THE シガパークビジョン検討委員会について

　　事務局より、THE シガパークビジョン検討委員会設置要綱を説明（資料-1）。

　　上田委員（滋賀県立大学）が全会一致により座長に選出された。

②THE シガパークおよびこれまでの取組について

　　事務局より、THE シガパークおよびこれまでの取組について説明（資料-2）。

　　・予算がないと進まないため短期的には財源確保が必要。

　　・長期的視点で理想を検討することも必要で、目に見えにくいが景観や生態系、文化を守る公共資産としての価値を重視すべき。

　　・横連携が取りにくい行政組織の中で、部局をまたぐプロジェクトであることが最大の特徴であり、独自性があり、重要なことである。

　　・一つの公園で多層的なプログラムが垂直的に立ち上がること、それらが県内で点から線、面へと水平的につながっていくことがポイント。

　　・各部局が所管する公園は関係法令や整備の財源が異なり難しい面もあるが、今回、部局を超えて大きなビジョンをつくり、各部局がそれを共有した上で動いていけると良い。

　　・今後、各公園の個性を生かした「県全体の公園像」のイメージを描くことが重要。

③THE シガパークビジョンについて

　　事務局より THE シガパークビジョンについて説明（資料-3）。

- ・ビジョンの進め方は県全体で考えるのか、個別の公園ごとに考えるのか、位置づけを明確にしてほしい。
- ・県民目線で市町、民間施設をビジョンの対象に含めるのは良いことであるが、各施設の実態の把握や調整の場の設定、情報共有が必要。
- ・市町、民間に対して、ビジョンが上から目線にならないように配慮し丁寧に説明していくことが必要であり、しっかり情報発信や情報交換していくことが大切。
- ・長期的なビジョンは、どの程度の期間で検討するのかが大切であり、10年単位では收まらず一世代で完結できるものではなく、次の世代に継承する前提での作成が必要。
- ・参考例として、明治神宮の森は150年先の植生を見据えた森である。
- ・次の世代に継承するにしても、将来のことをどこまで決めていけばいいのか。また、人口減少のデータなども踏まえて検討していくのか。
- ・理想として検討するのには100年単位でもいいが、私達が責任持っている範囲としては25年ぐらいまでである。ランドスケープデザインは25年、50年ぐらいのスパンで考えている。
- ・水と緑と人と繋がるっていうワードは素敵であるが、そもそも誰のためにTHEシガパークビジョンをつくるのか、自分事として公園を捉えてもらうための工夫が必要。

④利用者等への公園に関する意見聴取の方法について

事務局より意見聴取方法について説明（資料-4）。

- ・様々な対象者にアンケートをするのであれば、各アンケート結果を比較できるように項目を揃えると良いだろう。
- ・アンケートは、できるだけ集めた方が良いので、アンケート対象は、大学等の学校関係や地元の銀行等の企業も含めると良い。
- ・アンケート調査票のレイアウトは、自分のためのアンケートとして捉えてもらえるように、見やすいデザインの工夫が必要。
- ・アンケートをすること自体がTHEシガパークの趣旨説明ともなるので、わかりにくく、難しいアンケートだとTHEシガパークのイメージが悪くなり、他人ごとに感じてしまうので、わかりやすく、THEシガパーク位置図を加えると良い。
- ・最初の設問であるTHEシガパークの認知度は最後に持って行き、良く利用する公園の設問が最初の方が、公園のアンケートとして回答しやすいだろう。
- ・今回はビジョン作成にあたっての意見収集ということであるが、具体的なビジョン骨子案作成後の意見収集も必要だろう。
- ・公園は、いろいろな人のエピソードや体験にあふれた記憶が積み重なった場所でもあるため、自身の体験に関する設問があると良い。

以上